

○事務担当者
十二名

ニ入物に便するに、事務も亦半信之者、理説成可脱、後流イノ流々入
切し先ニ入物に外集ニ紀申シ此末敵多進ニ討し集行ノ加ノ或ハ確
テテ破壊スルヲノ乱暴ヲ御キ、坊ノ地切切ヲ尖ヒ細ニ飛ヒ込ニ水面登
海中ノランナニ設置ルニ一他ノ舟ニ出ハレ逃ケ先ニ去ル者ニ付カ
可成ノ乱開ノ懐ニ負傷者數名ヲ去リ、(原簿及事務の始末は後述す)甲ノ八人中不省ニ陥リ、醫師ノ
多クニテ、折々生セシモノアリ、付治ハ一時以テ診察官ノ警式ニ依リ
漸ク鎮静ニ期シ先ニ依然然系ノ流ケテ就果セズ、有弊敵ノ倒成ニ絶
キ、一帯ニシテヤリ、皆折々ニハシテ用物スル等ニシテ一切成テ、有弊退却ニ際シテハ
左部ニテ引揚ケテ。

○大内局員

大内局員費 (三月十日開始) 四日

造敵部	一〇七ノ名
造水部	七五五名
修理部	一五九名
臨時正役	一〇名
合計	一八七名

○高口ハ事務中ノ一佐科ヲ在居スル方付アリ
○事務中ノ中隊本部ニ於テハ、折部令ヲ用キ、四日ノ大内局員
否ニ付テ協談ニシ結果、結局左部ノ入物ト爲ルヲ續行スル中ニ
決シ、其首者ヲ格付ニ通告ス。

○會社ハ此ノ才ニ四日ノ不取分ヲ職首ヲ爲ス、目下是ノ取調中
ナリ

○事務中ノ佐科支所
○是系決後
○不取分ヲ職首ノ
中計